

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 11 月 8 日(2022.11.8)

【公開番号】特開 2021-45479(P2021-45479A)

【公開日】令和 3 年 3 月 25 日(2021.3.25)

【年通号数】公開・登録公報 2021-015

【出願番号】特願 2019-171627(P2019-171627)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 10 月 28 日(2022.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
発光手段と、

演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

振動を発生する所定振動演出と、

前記所定振動演出と異なる演出であって前記有利状態に制御されることを示唆する予  
告演出と、

演出が実行されることを示唆する示唆演出と、を実行可能であり、

30

前記所定振動演出が実行されるときは、前記所定振動演出が実行されないときよりも前  
記有利状態に制御される割合が高く、

前記予告演出を対象とする前記示唆演出と、前記所定振動演出を対象とする前記示唆演  
出とで、少なくとも所定部分の演出態様が共通であり、

前記示唆演出において、前記所定部分が実行された後、前記所定振動演出が実行される  
ことを示唆することが可能であり、

前記示唆演出において、前記所定部分が実行された後、前記予告演出が実行されるこ  
を示唆することが可能であり、

前記所定振動演出は、可変表示における第 1 タイミングで実行可能な第 1 所定振動演出  
と、該第 1 タイミングより後の第 2 タイミングで実行可能な第 2 所定振動演出と、を含み

40

前記第 1 所定振動演出が実行された場合、当該第 1 所定振動演出の実行中における前記  
発光手段の発光態様に応じて前記有利状態に制御される割合が異なり、

前記第 2 所定振動演出が実行された場合、前記有利状態に制御されるときと、前記有利  
状態に制御されないときとがあり、

前記予告演出として特定予告演出が実行されるときは、前記第 2 所定振動演出が実行さ  
れるときよりも前記有利状態に制御される割合が低く、前記特定予告演出を対象とする前  
記示唆演出が実行される割合は、前記第 2 所定振動演出を対象とする前記示唆演出が実行  
される割合よりも低く、

前記演出制御手段は、前記有利状態に制御される可変表示において前記第 1 所定振動演

50

出が実行された後、前記特定予告演出を対象とする前記示唆演出を実行可能であり、前記第2所定振動演出を対象とする前記示唆演出を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

振動を発生する所定振動演出と、

前記所定振動演出と異なる演出であって前記有利状態に制御されることを示唆する予告演出と、

10

演出が実行されることを示唆する示唆演出と、を実行可能であり、

前記所定振動演出が実行されるときは、前記所定振動演出が実行されないときよりも前記有利状態に制御される割合が高く、

前記予告演出を対象とする前記示唆演出と、前記所定振動演出を対象とする前記示唆演出とで、少なくとも所定部分の演出態様が共通であり、

前記示唆演出において、前記所定部分が実行された後、前記所定振動演出が実行されることを示唆することが可能であり、

前記示唆演出において、前記所定部分が実行された後、前記予告演出が実行されることを示唆することが可能であり、

前記所定振動演出は、可変表示における第1タイミングで実行可能な第1所定振動演出と、該第1タイミングより後の第2タイミングで実行可能な第2所定振動演出と、を含み

20

前記第1所定振動演出が実行された場合、当該第1所定振動演出の実行中における前記発光手段の発光態様に応じて前記有利状態に制御される割合が異なり、

前記第2所定振動演出が実行された場合、前記有利状態に制御されるときと、前記有利状態に制御されないときとがあり、

前記予告演出として所定予告演出が実行されるときは、前記第2所定振動演出が実行されるときよりも前記有利状態に制御される割合が高く、前記所定予告演出を対象とする前記示唆演出が実行される割合は、前記第2所定振動演出を対象とする前記示唆演出が実行される割合よりも高く、

30

前記演出制御手段は、前記有利状態に制御される可変表示において前記第1所定振動演出が実行された後、前記所定予告演出を対象とする前記示唆演出を実行可能であり、前記第2所定振動演出を対象とする前記示唆演出を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

40

本手段Aの遊技機は、

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、発光手段と、

演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

振動を発生する所定振動演出と、

前記所定振動演出と異なる演出であって前記有利状態に制御されることを示唆する予告演出と、

演出が実行されることを示唆する示唆演出と、を実行可能であり、

前記所定振動演出が実行されるときは、前記所定振動演出が実行されないときよりも前

50

記有利状態に制御される割合が高く、

前記予告演出を対象とする前記示唆演出と、前記所定振動演出を対象とする前記示唆演出とで、少なくとも所定部分の演出態様が共通であり、

前記示唆演出において、前記所定部分が実行された後、前記所定振動演出が実行されることを示唆することが可能であり、

前記示唆演出において、前記所定部分が実行された後、前記予告演出が実行されることを示唆することが可能であり、

前記所定振動演出は、可変表示における第1タイミングで実行可能な第1所定振動演出と、該第1タイミングより後の第2タイミングで実行可能な第2所定振動演出と、を含み

前記第1所定振動演出が実行された場合、当該第1所定振動演出の実行中における前記発光手段の発光態様に応じて前記有利状態に制御される割合が異なり、

前記第2所定振動演出が実行された場合、前記有利状態に制御されるときと、前記有利状態に制御されないときとがあり、

前記予告演出として特定予告演出が実行されるときは、前記第2所定振動演出が実行されるときよりも前記有利状態に制御される割合が低く、前記特定予告演出を対象とする前記示唆演出が実行される割合は、前記第2所定振動演出を対象とする前記示唆演出が実行される割合よりも低く、

前記演出制御手段は、前記有利状態に制御される可変表示において前記第1所定振動演出が実行された後、前記特定予告演出を対象とする前記示唆演出を実行可能であり、前記第2所定振動演出を対象とする前記示唆演出を実行可能である

ことを特徴とする。

本手段1の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態(大当り遊技状態)に制御可能な遊技機(パチンコ遊技機1)であって、

演出を制御する演出制御手段(演出制御用CPU120)を備え、

前記演出制御手段(演出制御用CPU120)は、

振動を発生する所定振動演出(単体振動演出としての第4振動演出)と、

前記所定振動演出とは異なる演出であって前記有利状態に制御されることを示唆する予告演出(通常予告演出としての擬似連演出、群予告演出)と、

演出が実行されることを示唆する示唆演出(特定示唆演出)と、を実行可能であり、

前記所定振動演出が実行されるときは、前記所定振動演出が実行されないときよりも前記有利状態に制御される割合が高く(単体振動演出が実行されるときの方が、単体振動演出が実行されないときよりも大当り期待度が高く)、

前記予告演出を対象とする前記示唆演出と、前記所定振動演出を対象とする前記示唆演出とで、演出態様の少なくとも一部が共通であり(図12-2(1)に示すように、通常予告演出に対応する特定示唆演出における第1段階(ステップ1)が実行されるときと、単体振動演出に対応する特定示唆演出における第1段階(ステップ1)が実行されるときとで、画像表示装置5において共通の第1特定示唆画像16TM100が表示されており)、

前記予告演出として特定予告演出が実行されるときは、前記所定振動演出が実行されるときよりも前記有利状態に制御される割合が低く(図12-1及び図12-6(C)に示すように、通常予告演出としての擬似連演出は、単体振動演出としての第4振動演出よりも大当り期待度が低く)、前記特定予告演出を対象とする前記示唆演出が実行される割合は、前記所定振動演出を対象とする前記示唆演出が実行される割合よりも低い(図12-13(A)及び(C)に示すように、擬似連演出に対応する特定示唆演出の実行割合は、10~30%の範囲である一方で、第4振動演出に対応する特定示唆演出の実行割合は、50~65%の範囲であり、擬似連演出に対応する特定示唆演出の実行割合は、第4振動演出に対応する特定示唆演出の実行割合よりも低い)

ことを特徴とする。

このような構成によれば、特定予告演出を対象とする示唆演出の実行頻度を、所定振動演出を対象とする示唆演出の実行頻度よりも低くすることにより、示唆演出に対する遊技者の関心が低下することを防止できる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本手段 B の遊技機は、  
 可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
 演出を制御する演出制御手段と、を備え、  
 前記演出制御手段は、  
 振動を発生する所定振動演出と、  
 前記所定振動演出と異なる演出であって前記有利状態に制御されることを示唆する予告演出と、  
 演出が実行されることを示唆する示唆演出と、を実行可能であり、  
 前記所定振動演出が実行されるときは、前記所定振動演出が実行されないときよりも前記有利状態に制御される割合が高く、  
 前記予告演出を対象とする前記示唆演出と、前記所定振動演出を対象とする前記示唆演出とで、少なくとも所定部分の演出態様が共通であり、  
 前記示唆演出において、前記所定部分が実行された後、前記所定振動演出が実行されることを示唆することが可能であり、  
 前記示唆演出において、前記所定部分が実行された後、前記予告演出が実行されることを示唆することが可能であり、  
 前記所定振動演出は、可変表示における第 1 タイミングで実行可能な第 1 所定振動演出と、該第 1 タイミングより後の第 2 タイミングで実行可能な第 2 所定振動演出と、を含み  
 前記第 1 所定振動演出が実行された場合、当該第 1 所定振動演出の実行中における前記発光手段の発光態様に応じて前記有利状態に制御される割合が異なり、  
 前記第 2 所定振動演出が実行された場合、前記有利状態に制御されるときと、前記有利状態に制御されないときとがあり、  
 前記予告演出として所定予告演出が実行されるときは、前記第 2 所定振動演出が実行されるときよりも前記有利状態に制御される割合が高く、前記所定予告演出を対象とする前記示唆演出が実行される割合は、前記第 2 所定振動演出を対象とする前記示唆演出が実行される割合よりも高く、  
 前記演出制御手段は、前記有利状態に制御される可変表示において前記第 1 所定振動演出が実行された後、前記所定予告演出を対象とする前記示唆演出を実行可能であり、前記第 2 所定振動演出を対象とする前記示唆演出を実行可能である  
 ことを特徴とする。  
 本手段 2 の遊技機は、  
 遊技者にとって有利な有利状態（大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機（パチンコ遊技機 1）であって、  
 演出を制御する演出制御手段（演出制御用 CPU 120）を備え、  
 前記演出制御手段（演出制御用 CPU 120）は、  
 振動を発生する所定振動演出（単体振動演出としての第 4 振動演出）と、  
 前記所定振動演出とは異なる演出であって前記有利状態に制御されることを示唆する予告演出（通常予告演出としての擬似連演出、群予告演出）と、  
 演出が実行されることを示唆する示唆演出（特定示唆演出）と、を実行可能であり、  
 前記所定振動演出が実行されるときは、前記所定振動演出が実行されないときよりも前

記有利状態に制御される割合が高く（単体振動演出が実行されるときの方が、単体振動演出が実行されないときよりも大当り期待度が高く）、

前記予告演出を対象とする前記示唆演出と、前記所定振動演出を対象とする前記示唆演出とで、演出態様の少なくとも一部が共通であり（図 12 - 2（1）に示すように、通常予告演出に対応する特定示唆演出における第 1 段階（ステップ 1）が実行されるときと、単体振動演出に対応する特定示唆演出における第 1 段階（ステップ 1）が実行されるときとで、画像表示装置 5 において共通の第 1 特定示唆画像 16 T M 1 0 0 が表示されており）、

前記予告演出として所定予告演出が実行されるときは、前記所定振動演出が実行されるときよりも前記有利状態に制御される割合が高く（図 12 - 7 及び図 12 - 6（C）に示すように、通常予告演出としての群予告演出は、単体振動演出としての第 4 振動演出よりも大当り期待度が高く）、前記所定予告演出を対象とする前記示唆演出が実行される割合は、前記所定振動演出を対象とする前記示唆演出が実行される割合よりも高い（図 12 - 13（B）及び（C）に示すように、群予告演出に対応する特定示唆演出の実行割合は、70～90%の範囲である一方で、第 4 振動演出に対応する特定示唆演出の実行割合は、50～65%の範囲であり、群予告演出に対応する特定示唆演出の実行割合は、第 4 振動演出に対応する特定示唆演出の実行割合よりも高い）

ことを特徴とする。

このような構成によれば、所定予告演出を対象とする示唆演出の実行頻度を、所定振動演出を対象とする示唆演出の実行頻度よりも高くすることにより、示唆演出に対する遊技者の関心が低下することを防止できる。

10

20

30

40

50